

- 問1 積雪の多い地域の道路で見られる、道路の上方に矢印を掲げた「固定式視線誘導柱」という標識について、その仕組みや必要とされる背景を説明したものととして適切なものはどれですか。（2021年 兵庫県公立入試 類似）
1. 地吹雪による視界不良を防ぐために、道路脇に設置された防雪柵が作動する範囲を運転者に伝える仕組み。
 2. 雪の重みによる路面の変形を確認するため、道路の測量地点を高い位置から特定しやすくする仕組み。
 3. 道路の端（路肩）の位置を高い場所から指し示すことで、地面が雪に覆われた状態でも車道の範囲を知らせる仕組み。
 4. 路面が凍結しやすい場所に設置され、気温が一定以下になると矢印が自動的に発光してスリップ注意を促す仕組み。
- 問2 北海道の地理的特徴や自然環境について述べた次の文のうち、知床半島に関連する記述として正しいものはどれか。（2017年 愛知県公立入試 類似）
1. 亜熱帯の気候に属し、独自の進化を遂げた固有種が多く生息することから、小笠原諸島とともに世界自然遺産に選ばれている。
 2. 親潮（寒流）の影響を強く受けるため、夏季には季節風が温められて上昇し、年間を通して降水量が非常に多い地域である。
 3. 世界自然遺産に登録されており、海と陸の生態系のつながりが保たれているほか、周辺にはラムサール条約登録湿原もみられる。
 4. 流水が接岸する北限の地として知られ、広大な泥炭地が広がることから、全域が世界文化遺産に登録されている。
- 問3 北海道の倶知安町や二セコ町における外国人宿泊客数の統計では、12月から3月にかけての冬季の客数が突出して多く、他の月との格差が非常に大きいという特徴が見られます。このような宿泊客の動向が生まれている地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 群馬県公立入試 類似）
1. 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため
 2. 流水を観察するための砕氷船観光が、外国人観光客の最大の目的となっているため
 3. 梅雨のない気候を求めて、アジア圏から多くの避暑客が長期滞在するため
 4. 夏休みの期間を利用した大規模な農業体験が外国人家族連れに普及しているため
- 問4 ある都道府県の産業別就業者割合を確認すると、第1次産業が約6%、第2次産業が約17%、第3次産業が約77%となっていた。広大な土地を生かした農業が盛んであるため第1次産業の割合が全国平均より高く、観光業などのサービス業が発達しているため第3次産業の割合も極めて高いこの都道府県はどこか。（2025年 青森県公立入試 類似）
1. 大阪府
 2. 北海道
 3. 静岡県
 4. 千葉県
- 問5 日本の諸地域のうち、北海道地方について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。なお、北海道には世界自然遺産に登録された知床があります。（2018年 千葉県公立入試 類似）
1. 道庁所在地は函館市であり、本州との交通の要所となっている。
 2. 道庁所在地は札幌市であり、都道府県名と都市名が異なる例である。
 3. 道庁所在地は釧路市であり、水産業の拠点となっている。
 4. 道庁所在地は旭川市であり、上川盆地の中心都市である。
- 問6 1960年から2010年までの50年間で、札幌市の人口は約62万人から約191万人へと3倍以上に急増しました。北海道全体の人口が1950年の約430万人から2010年の約551万人へと緩やかな推移を見せる中で、このような札幌市の人口動態が北海道全体に与えている状況として最も適切なものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）
1. 道内人口に占める札幌市の割合が一貫して上昇し、札幌市への一極集中が進んでいる。
 2. 道内の各都市が札幌市と同様のペースで成長したため、札幌市の人口占有率は低下している。
 3. 北海道全体の人口が減少局面に入ったことで、札幌市の人口も2010年に向けて激減した。
 4. 札幌市の人口増加率よりも北海道全体の人口増加率の方が高く、人口の分散が起きている。
- 問7 北海道の南東部に位置する十勝平野では、その広大な土地と冷涼な気候を活かした大規模な農業が行われています。この地域における農業の特色を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2022年 和歌山県公立入試 類似）
1. 温暖な気候を利用して、冬でもレタスなどの野菜を栽培する促成栽培が行われている。
 2. 豊かな水資源を利用した大規模な稲作が行われ、米の単作地帯となっている。
 3. 大消費地に近い立地を活かして、ビニールハウスを用いた施設園芸農業が行われている。
 4. 輪作を中心とした大規模な畑作が行われ、あわせて酪農も盛んである。
- 問8 北海道において、宿泊施設の延べ宿泊者数や温泉地数が全国的に見て極めて多い水準にある理由と、その観光業の特色について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）
1. 首都圏からの距離が近いため、日帰りの観光客を主なターゲットとした小規模な宿泊施設が特定の都市に集中し、効率的な運営が行われているため。
 2. 歴史的な寺社仏閣が全国で最も多く、それらの伝統的建造物を宿泊施設として再利用する取り組みが全道で進んでいるため。
 3. 冬季の積雪が厳しいため、観光の主力は夏場の避暑や農業体験に限定されており、季節による宿泊者数の変動が極めて大きい構造となっているため。
 4. 火山帯に位置する地理的条件を活かした温泉地が各地にあり、広大な自然景観やパウダースノーなどの地域資源を求めて国内外から多くの観光客が訪れるため。
- 問9 北海道にある札幌、室蘭、知床などの都市名や地形名の多くに共通する歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
1. 江戸時代に本州から渡った商人たちが、故郷の地名をそのまま付けたものである。
 2. 縄文時代から続く日本の古語が、気候の影響で変化せずに残ったものである。
 3. 明治時代の開拓使が、欧米の植民地を参考にして英語風の響きを漢字にしたものである。
 4. 先住民族であるアイヌ民族の言葉に、後から漢字を当てはめたものである。
- 問10 北海道の農業経営に関する二〇〇五年から二〇二〇年の推移について、統計的な事実として正しい説明はどれですか。なお、この期間において農業経営体の総数は減少しており、経営耕地面積の合計は約百七万ヘクタールから約百三万ヘクタールへと微減しています。（2024年 大阪府公立入試 類似）
1. 団体経営の割合が低下したため、一経営体あたりの経営耕地面積は縮小した
 2. 農業経営体の総数は減少したが、団体経営の数は増加し、経営の集約化が進んだ
 3. 農業経営体と団体経営の数がともに増加したため、耕地の奪い合いが起きた
 4. 経営耕地面積が微減した主な原因は、団体経営の数が大幅に減少したことにある
- 問11 北海道の農業産出額の構成において、畜産の占める割合が5割を超え、米の割合を大きく上回っている理由として最も適切な説明はどれですか。（2016年 岩手県公立入試 類似）
1. 平地が少ないため、傾斜地を利用した果樹栽培が盛んに行われているため
 2. 冷涼な気候を活かして、米の生産に特化した大規模農業が行われているため
 3. 大消費地に近い利点を活かして、野菜の生産を最も重視しているため
 4. 広大な土地を活かして、乳牛などの大規模な飼育が行われているため